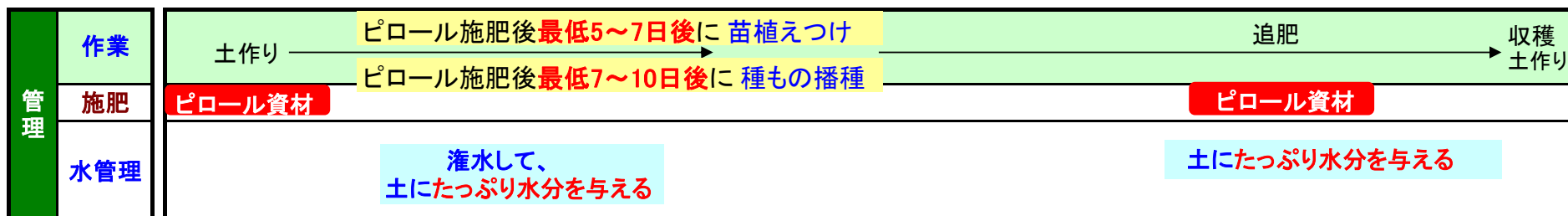


ピロール資材 使用法【畑用】

◆ 大根・きゅうり・トマト・キャベツ・じゃがいも・ほうれん草・白菜など ◆



備考

◆ 基本施肥量

1坪にピロール資材1kg
(初めてのの方は2kgでも構いません)

※よく土と混ぜ合わせる

◆ピロール資材

10 a あたり 200 ~ 400 kg を元肥
として全面散布施肥してください

(10 ~ 20 袋)

④ 有機資材とピロール資材を同時に大量に施肥することは避けてください

● 有機質肥料(堆肥など)を使う場合
有機資材を施肥した後1週間ほど間を置いてからピロール資材を施肥してください

● 化学肥料(化成)を使う場合
ピロール資材と一緒にすき込んでください

④ 施肥後すぐに種を撒くと芽が出ません
↓ 種は弱酸性の土を好むため

● じゃがいもの場合
元肥としてだけでなくあとの土寄せの時にピロール資材を一反当り 100 kg ほど施肥するとより効果があります

● スイカ・メロンの場合
ピロール資材を株元に埋めておいても結構です

● アスパラガスなど
随時気温の高い時期に切れ込み(溝)を入れた中にピロール資材を入れて土で覆ってください

◆ 追肥としても使用していただけます

ピロール資材を適量苗と苗との間などに撒いて土と混ぜ合わせてください

ポイント!



※ いずれの場合でも、水分が多いほど効果が早まり持続しますので、乾く土地や乾く夏場には水分補給に心掛けてください。

※ ピロールの中には、生石灰がありますから、規定量施肥される時は、他の石灰資材(消石灰・石灰窒素など)を施肥する必要はありません。

※ 堆肥やケイフン・油カス・米ヌカなど有機質肥料をピロール資材と同じ時期に大量に施肥しないでください。